

地球温暖化問題を市民や地域の力で解決する

2004年「環境と経済の好循環のまちモデル事業」選定を契機にスタート

市民の力

市民出資: 地球温暖化を防止するために、
自然エネルギーをもっと普及しよう。
自治の力: 自分たちの地域を見直し再エネ利活用の
可能性を探し実現させる。
若者の力: 新鮮な発想による再エネの活用。
(例) 飯田市立旭ヶ丘中学校

行政の力

公共財産の長期に亘る目的外使用を認める。
創りだされたエネルギーを長期に亘り買い取る。
再エネ条例などで再エネ事業を支える。

事業者の力

地元工事業者による信頼できる工事。
金融機関による再エネ事業への融資。
地域内外の知見を活かす。

おひさま進歩エネルギー

創

創エネ事業

ズク (根気) を出して
センショ (積極的) に行動

省

省エネ事業

おひさま13年の成果

おひさまファンド

| | | |
|------------|--------|------------|
| 組成数 | 10回 | |
| 出資者延人数 | 2,699人 | |
| 出資総額 | | 20億3,830万円 |
| 金融機関からの融資 | | |
| 飯田信金・八十二銀行 | | 12億1,450万円 |
| 補助金 | 国・市町村等 | 9億4,450万円 |
| 合計 | | 41億9,730万円 |

投資

分配

創エネ事業

太陽光発電事業

421カ所 9,161kWh

内、再投資

64ヶ所 2,141kWh

省エネ事業

飯田市美術博物館省エネ事業

商店街エスコ事業

長野県阿南町防犯灯LED化事業 等